

# ひたちなか市議会だより

## ひたちなか市 30年目の幕開け

もくじ

No. 126

令和6年1月25日

新年のごあいさつ .....	2
審議案件の紹介 .....	2
一般質問 .....	3
討論、請願・陳情、人事 .....	7
市民のこえほか .....	8

# 新年のごあいさつ



議長  
薄井 宏安



副議長  
雨澤 正

令和6年能登半島地震により亡くなられたかたがたに哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

市民の皆さまには、日頃より市議会運営に対しまして多大なるご支援、ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、3年にわたるコロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻などに起因する世界的な原油高、物価高騰などにより、市民生活や事業経営は大きな影響を受け続けております。このような状況において、二元代表制の一翼を担う私たち議員は、市民生活の安定と福祉、地域経済の活性化のため、市民の皆さまの負託をしっかりと受け止め、議員一同さらなる努力をしてまいります。

また、本年は市政30周年を迎える記念すべき年でございます。市議会としても新しい時代にふさわしい開かれた議会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

本年もなおいっそうのご支援ご協力をお願いいたしますとともに、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

### ひたちなか市議会議員

鷗澤 恵一	安次 男	雨澤 正	薄井 宏安
大久保 清美	清水 健司	北原 祐二	清水 立雄
宇田 貴子	大内 健寿	弓削 仁一	三瓶 武浩
安のり子	萩原 健生	大海 聖隆	打越 浩
井坂 涼子	鈴木 道生	大内 聖隆	(議席順)
鎌田 政人	山田 恵子	大谷 聖隆	
田中 高司	加藤 恭子	井坂 章	

市議会議員は、公職選挙法の規定により年賀状を送ることが禁止されているため、本紙面上をもって年頭のごあいさつとさせていただきます。

# 12月定例会で 次の案件が提出されました。

● 会期：12月6日～12月20日

## 今回の審議件数は

議案：11件（原案可決10件・同意1件）  
陳情：1件（7ページを参照）  
計：12件

今号では  
この中から  
3つを左に  
掲載します。

○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〔議案第123号〕 令和5年度ひたちなか市一般会計補正予算（第5号）

### 『地域密着型サービス施設整備事業費補助金』

社会福祉法人が開設する小規模多機能型居宅介護事業所整備に対して補助金を新たに措置します。

〔議案第126号〕 ひたちなか市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

国保税の納税者または、その世帯に属する被保険者が出産する場合において、産前産後期間の所得割額と均等割額の減額に関する規定ならびに届出に関する規定を追加します。

〔議案第129号〕 令和5年度ひたちなか市一般会計補正予算（第6号）

### 『物価高騰などの影響を受けた低所得世帯への重点支援 給付金支給事業』

燃料費・食料品など、価格高騰などの影響を特に受けた低所得世帯（住民税非課税世帯など）に対して、重点支援給付金を支給します。

# 一 般 質 問



## 質問者

- ① 大内 健寿 議員
- ② 宇田 貴子 議員
- ③ 加藤 恭子 議員
- ④ 山田 恵子 議員
- ⑤ 大久保清美 議員
- ⑥ 鷺澤 恵一 議員
- ⑦ 清水 立雄 議員
- ⑧ 井坂 章 議員
- ⑨ 清水 健司 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお、掲載は登壇の順となっております。

市の事業などについて、  
執行状況または将来の方針、  
課題などを議員が直接質問しました。



<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>  
市議会ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容をご覧になれます。



海浜鉄道湊線の写真

**企画部長** 新たに設定した新駅1については、これから整備が進む阿字ヶ浦土地区画整理事業区域内に設置予定であり、今後居住者の増加が見込まれる中、地域住民の移動手段としても大いに活用できると考えている。

**教育部長** 今後、新たな駅が設置された際には、新駅が最寄り駅となる児童生徒においては、通学に新駅を利用することになると考えている。

**問** ひたちなか海浜鉄道については、街の活性化などに大きく寄与する地域資源であり、公共的なインフラ施設である。延伸計画、新たに設置される新駅の利便性、美乃浜学園の通学について伺う。

## ① 大内 健寿 議員 ひたちなか海浜鉄道 湊線延伸について

**建設部長** 和田町常陸海浜公園線は北側終点から882メートルの区間を本市が、その南側5318メートルを県が管理している。本市における櫛の管理は、環境条件による影響で樹高や幹回りに差があるため、不定期ではあるが、櫛の成長に合わせ剪定を行っている。また、市民の要望があった際は現地確認の上、剪定・伐採などを実施しており、今後も安全に向けた適正な管理に努めていく。

**問** 道路がきちんと舗装されていることが街の豊かさを感じられるものだと考えている。街の環境は住民の心の豊かさや地域愛を生み出す。まずはベーシックな街の環境整備であると思うが、いかがか。

## ● 和田町常陸海浜公園線の櫛について





### ●もつと身近で便利な公共交通の充実を

**問** 多くの市民が身近で便利で安く使える公共交通の整備を望んでいる。限られた市の財源を、湊線の延伸事業に100億円以上使うのは、多額の負の遺産にしかならないと考えるが、いかがか。

**企画部長** 海浜鉄道湊線の延伸については、事業費の削減に努めてきたが、資材価格の高騰などが影響し、事業費の増加が見込まれており、延伸全体の事業費については現在精査中である。また、開業30年程度で黒字化しその後、経営が安定する見込みがなければ国は延伸事業を認めないため、需要予測や収支計画の見直し作業を行い、湊線の延伸を推進していく。

### ●子どもたちに安心できる居場所を

**問** 学校に通っていても学校が苦しいと思っている子どもも、学校へ行けなくなった自分を責めながら不登校せざるを得ない子どもたちが増えている。子どもの心と学びを支える支援について伺う。

**教育長** 現在不登校傾向にある児童生徒に対して、主に中学校などにおいて空き教室などを活用し、個に応じた学習支援や教育相談を行っており、これらが児童生徒の居場所の役割を果たしていると認識している。また、各学校や教育研究所において相談があった保護者や児童生徒に、いちよう広場を案内し、学校と情報共有を図りながら状況に応じた支援を行っている。



### ●終活支援について

**問** これまで自主的に行うことが多かった終活だが、最近ではサポートする自治体が増えていく。本市の相談支援の現状と、今後の取り組みについて伺う。



**保健福祉部長** 本市では、地域包括支援センターや広報広聴課による困りごと相談などが窓口となり、相談者の事情に応じ、弁護士などの専門職を案内している。死亡後の事務処理は多岐にわたるため、今後も「絆ノート」【※】を活用し、適切な機関へ案内するとともに、終活に携わる医療介護関係者などとの連携を図り、円滑に手続きを行えるよう相談支援体制の整備に努めていく。

### 用語解説 【※】絆ノート

エンディングノートの別名で、人生の終盤に起こりうる万一の事態に備えて、治療や介護、葬儀などについての自分の希望や、家族への伝言、連絡すべき知人のリストなどを記しておくノートのこと。

### ●移動期日前投票所 についての見解は

**問** 投票の意思はあっても、足腰が弱ってひとりでは歩くのに不安があり、投票所まで行けない方のために、移動期日前投票所を実施している自治体が増えていく。本市の見解を伺う。

**選挙管理委員長** 移動期日前投票所は、山間部や過疎部など、投票所までの距離がある地域に居住する高齢者の投票機会を確保するため、実施されているものと認識している。本市では、昨年からバスによる移動期日前投票所の運用を始めたが、多くの投票事務従事者の確保や投票所の選定などの課題があるため、さらにきめ細かい移動期日前投票所の設置には至っていない。

### ●内水氾濫における 対策について

**問** 田彦地区は大雨が続くと内水氾濫が起りやすく、特に小学校周辺の冠水は、登下校時に危険と感じる。本年、田彦小グランドに地下貯留施設の整備が完了した。その効果と今後の取り組みを伺う。



**建設部長** 効果については、台風13号の豪雨時には、地下貯留施設の貯留率が100%となり、排水路に流れる雨水量が軽減され、下流域の浸水被害軽減につながった。今後は、田彦小グランドへの地上貯留施設の設置を進めるとともに、今年度から田彦地区へつながる大島第2幹線の整備を下流部から開始し、田彦地区の浸水被害軽減に向け治水対策を進めていく。

④山田 恵子 議員

### ●書かない窓口の導入について

**問** デジタル庁は、「市民サービスの向上を目指し、「書かない窓口」の導入を推進している。住民票などの各種証明書の発行時に申請書への記載を省略・簡素化できるサービスである。本市の取り組み状況を伺う。

**企画部長** 本市では、本年7月に策定した「ひたちなか市デジタル化推進アクションプラン」において、「書かない窓口」の導入に向けて取り組むことを新たに掲げ、現在は他市町村の導入事例の情報収集などを行っているところである。今後は、他市町村の導入事例を参考にしながら関係各課による協議を進め、「書かない窓口」の実現に取り組んでいく。



⑤大久保 清美 議員

### ●東海第二原発防潮堤工事の施工不良について

**問** 原発自らが安全対策工事の要と位置付ける防潮堤工事の施工不良が発覚した。特に取水口上部の防護壁を支える北基礎の岩盤未着は問題だ。市は原子力安全協定に基づき立入調査をすべさだが、市長の考えを伺う。

**市長** 東海第二原発の安全性対策工事については、実施主体である日本原電が、逐次国と協議し、適正な対応を図っていると認識している。また、設備が設計通り施工されているかについては、国の完了検査などにより判断される。従って、工事の施工の経過について、市単独で安全協定に基づく立入調査により確認を行うことは考えていない。

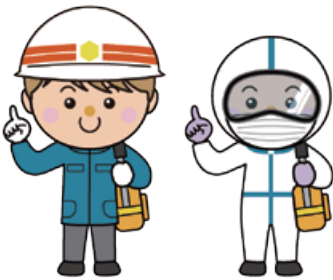


⑥鵜澤 恵一 議員

### ●東海第二原発事故シミュレーションについて

**問** シミュレーションは最悪事故想定でも放射性物質放出量を福島事故の千分の一とし、県も避難者を最大17万人と喧伝し、問題を矮小化している。市は本当にこのような過小想定を基に避難計画を策定するのか。

**市民生活部長** 拡散シミュレーションの結果については、あくまでも一定の気象条件や事故想定に基づいたパターンのうちの一つであると受け止めている。広域避難計画については、市内全域を対象とし、全市民の避難先を確保すべきと認識している。引き続き、避難計画の実効性を高めていくための活用方法について、県や周辺市町村と協議していく。



⑦原発に関しても市民の声を聞く姿勢

**問** 原発の再稼働問題については市民の声をしっかりと聞くべきだ。東海第二原発再稼働の是非について市民の生の声を直接聞くつもりがあるかどうか。あるのならその方法について伺う。

**市長** これまで市長として市民の皆さまとの直接対話や市政懇談会、避難計画策定に係る住民説明会などの機会を通じてご意見をいただいている。今後も、原子力所在地域首長懇談会で協議を進めるにあたり、民意を把握していく必要があるものと考えている。どのような方法を用いることが適当かも含めて検討していくが、まずは避難計画の内容など必要な情報を市民の皆さまに提供していく。

### ●児童の通学路の安全確保について

**問** 朝、大勢の児童が集中する通学路には多くの危険が存在する。児童の通学路の安全確保対策について伺う。

**教育部長** 通学路の危険箇所については、警察署、市道などの道路管理者、市交通安全対策部門、教育委員会、学校などの関係者により合同点検を実施している。それぞれの部署の意見に基づき、横断歩道の設置や路面標識などの対策を講じ、「通学路交通安全プログラム」に位置付け、対策効果の把握、改善を図っている。また、交通安全教室などの教育にも取り組んでいる。



危険個所の合同点検の様子

### ●児童の通学路の安全確保について





### 歩行が難しい市民の移動手段について

**問** タクシー事業者は配車業務に対して、お客様の要望に十分に応えられないと言っている。ドアツードアの運用に、運転手が足りないというのであれば、市民のために公的支援も考えられるのではないかと。

**市長** 運転手不足は、タクシー業界に限らず、バスや他の業界でも同じ状況である。行政として、タクシー業界だけを見て公的資金を考えるのではなく、全体の調和を考えていく必要があると考える。  
**企画部長** 公的助成については、現在タクシー業界全体の聞き取りを行っているところである。その中で、より良い形がとれない引き続き検討していく。

### 道の駅のその後の調査・検討の結果について

**問** 国道245号線沿いで、複数の整備候補地を検討してきた。経営主体や民間事業者との販売品の競合などの課題もあり、さらに調査・検討を進めるということであった。その後の調査・検討の結果について伺う。

**市長** 来年度にJAの長砂直売所をドライフイン形式で拡張する方針が示された。引き続きJAと協議し、共にできることを行いながら課題の物販機能の強化に傾注していきたい。

**経済環境部長** 他市の道の駅を視察し、改めてJAの役割の大きさ、連携の必要性を実感した。今後は長砂直売所の拡張に併せて土産品の充実や観光情報発信機能の整備についてもJAと協議していく。



現在のJA長砂直売所



### 防潮堤の施工不良問題について

**問** 4月に原電による取水口・基礎工事の施工不良問題がおきた。原電は「工事が不十分でも安全だ」と強弁している。この問題に対し、市民の安全を守る責任ある市の見解を伺う。

**市民生活部長** 令和5年11月20日の「東海第二発電所安全対策首長会議」において、構成15市町村から日本原電に対し、工事に重大な事象が生じた場合は、速やかに関係市町村へ報告すべきであると注意し、改めて報告を要請した。市としては、今後、日本原電から施工不良の原因究明や対応策の検討結果について、報告があるものと認識している。

### 広域避難計画の課題について

**問** 30キロ圏内に居住する92万人の避難はとても厳しい。県内14市町村、千葉県は10市町となっている。避難車両（バス、福祉車両）の確保と運転手確保の見通しを伺う。

**市民生活部長** 県では、福祉車両や運転手の確保に向けて、県内外の団体との協議に併せて、交通事業者の理解と協力が得られるよう、交通事業者の運転手などを対象に、放射線防護の基礎知識や、緊急時の対応などに関する研修を実施している。県における取り組みや、東海第二地域原子力防災協議会において、緊急時対応が策定される過程で解決が図られると認識している。



### 佐和駅周辺地区のまちづくり

**問** 新佐和駅の利便性向上や高野地区、小貫山地区、常葉台から東口へのアクセス性向上のため、都市計画道路の早期開通が求められる。高野高野線および佐和停車場高野線の整備見通しについて伺う。

**都市整備部長** 用地が確保できたところから順次工事に着手し、高野高野線は、県道瓜連馬渡線までの150メートル区間を令和8年度末に、その先の小貫山地区までの170メートル区間を令和11年度末に、それぞれ供用開始を目標として整備を進めていく。また、佐和停車場高野線は、勝田佐野線までの区間を令和8年度末の供用開始を目標に、整備を進めていく。



## ふるさと納税による 寄付の有効活用を

**問** 教育事業推進を用途に定めた寄付が増加している。今後は寄付者の意向に沿い有効活用し、事例などを公表していくことで、さらなる寄付を呼び込むことにつながるのではないかと。今後の方針を伺う。

**企画部長** 市民と寄付者が共感できるような活用方針を念頭に置き、寄付金の有効な活用を図っていく。事例の公表は、ホームページやポータルサイトなどを通じて寄付者に感謝のメッセージを伝え、寄付金の使途やプロジェクトの進捗、成果を公開し寄付がどう役立つかを明確に伝え、寄付者との信頼関係を構築し、継続的な応援を促し新たな寄付者の発掘につなげていく。



## 請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

### 採択となったもの

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求めることについて

### 意見書

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書」を内閣総理大臣ほか5機関へ提出しました。

#### 措置内容

- 1 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

**● 反対**  
議案第127号 ひたちなか市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について、議案第128号 ひたちなか市営土地改良事業の施行について、両議案とも、那珂川沿岸地区国営土地改良事業に関する議案である。必要なことは、令

以上、反対討論とする。

## 議案に対する討論

12月定例会の議案について、採決に先立ち次のような討論が行われました

## 討論

debate

和8年度の事業完成予定を前に、新たな負担を農家に求めることではなく、農産物の価格保証や農家への所得補償、新たな担い手への支援の拡充、資材高騰への直接支援など、農家を支える支援の充実である。

議案第130号 ひたちなか市手数料条例の一部を改正する条例制定について、戸籍法の改正に伴い、戸籍謄本、除籍謄本について広域交付が可能になるなど市民にとって便利になる改正がある。一方で、マイナンバー、マイナンバーカードをめぐる不具合が解決できない状況の中、制度の詳細も定まらないまま、マイナンバーのさらなる利用拡大を図ることは、自治体の業務、予算、職員の負担がより大きくなることも懸念される。

## 決議

12月20日の本会議において、議案第133号「パレスチナ自治区ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議について」を全会一致で可決しました。

## 人事

### 固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に、小野 修氏を選任することに同意しました。



## 本会議生中継を 配信しています

本会議生中継を配信しています。本会議開催日当日に市議会ホームページのトピックスにアクセスしていただき、本会議生中継配信（試験配信）内のYouTubeのURLをクリックしてご視聴ください。



# 市民のこえ

hitachinaka

## みんなが住みよい街に

東石川 大瀧 幸子 さん

ひたちなか市は、私のように結婚を機に住む方が多いと、子どもを通じた親御さんとのつながりの中で感じています。その中で本市は、子育て、高齢世代などの声を大切に、住みよい街づくりの努力をされていることを、昨年初めて議会を傍聴して知ることができました。メディアなど、さまざまな情報を耳にしますが、自ら足を運び、地域の現状を学びながら、私ができることに貢献していきたいです。



## 地域と共に

平磯遠原町

磯崎 直樹 さん

美乃浜学園が創立され、3年が経過しました。海浜鉄道を利用した登下校にも慣れ、平磯・磯崎・阿字ヶ浦の子どもたちが仲良く伸び伸びと学ぶ姿を見て、ひたちなか市唯一の小中一貫校として良いモデルケースになっていると感じています。私自身、微力ではありますが、家庭、地域、学校が一つになり子どもたちを見守っていくコミュニティ・スクールの推進に取り組んでいきたいと思っています。



## 次回 3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22 <small>講義・研修締切り 正午</small>	23	24
25	26 <small>定例会告示 議会運営委員会</small>	27	28	29	3/1	2
3	4 <small>本会議 (開会)</small>	5 <small>本会議 (午後1時開議)</small>	6	7 <small>(議案調査)</small>	8 <small>(議案調査)</small>	9
10	11 <small>(議案調査)</small>	12 <small>本会議 (代表質問)</small>	13 <small>本会議 (代表質問、一般質問)</small>	14 <small>本会議 (一般質問、議案説明)</small>	15 <small>本会議 (予備日)</small>	16
17	18 <small>予算委員会</small>	19 <small>予算委員会</small>	20	21 <small>予算委員会</small>	22 <small>予算委員会</small>	23
24	25 <small>予算委員会 (予備日)</small>	26 <small>3常任委員会</small>	27 <small>(事務整理)</small>	28 <small>本会議 (開会)</small>	29	30

## 議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

(273-0111内線4211)

本会議の開始時間は、午前10時です。(日程が変更になる場合もあります) なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、感染症対策などをお願いする場合があります。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ  
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/gikai/index.html>



## 編集手帳

3年余りに及んだコロナ禍が終息に向かう中、新しい年を迎えることができました。議会も新人議員5名を迎えスタートし、12月定例会も20日に閉会いたしました。市民生活は、円安などによる物価や燃料費高騰などで、厳しい生活環境となっています。議会としても市民の声を行政へ、行政の声を市民へ伝えるためのパイプ役となり、開かれた議会をと考えています。ぜひとも、皆さまの声を議会へお寄せください。また、定例会の様子をライブ配信しておりますので、ご覧になっていただければ幸いです。…………… (田中 高司 記)